

子どもを連れて、とある秋祭りに行きました。会場で餅の振舞いをしていたのですが、かなり遅れて行った私たちは餅にありつけませんでした。そうしたら、餅をゲットした若いあんちゃんが子どもに「やるよ、食べな」と餅を手渡してくれたんです。もちろん無料で(笑)。捨てたもんじゃいなーと思いました。

投稿者 散歩道さん

先日フラツと立ち寄ったイベントでのお話し。飲食スペースのテーブルの上には片付けられたと思われるゴミが散乱していました。気になりつつも他のテーブルに座ってごはんを食べ半と思われる女の子のグループが帰り際、散らかっていたテーブルまでちゃんと片付けて帰っていく姿を目撃!ちょっと心温まりつつも感心した出来事でした。

投稿者 こんとさん

冷たい雨風が降る日、雨天決行のイベントに行きました。地元の方々が良くてくれて、「この傘、使っていいですよ。また来た時に返してくれたらいいですから」と言ってくれました。結局借りずにずぶ濡れでしたが、とっても幸せな気分になりました。

投稿者 りさん

寄せられた投稿は
つなラジで
読まれるかも!

三島地域、真夏のイベント「全日本丸太早切選手権大会」でスタッフをしているときに、選手をサポートで使うコールドスプレーを、応援の方がスタッフにまかしてあげている様子をよく見かけます。スタッフにも気を遣って頂いて嬉しいです。体は冷えるけど、心は暖まります。(o^o^)/

投稿者 三島地域むすび隊 大島健さん

投稿
募集
中

12月の投稿テーマ

【募集期間】11/21～12/20

発見! 身近に見つけた人との関わりシロ

投稿
方法

投稿フォームを使う

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。

協働センター窓口で投稿する

協働センター窓口には設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

つな
がる
ラジオ

週替わりで市民活動団体を紹介するFMながおかのラジオ番組。

■放送局: FMながおか (80.7MHz)

■放送日: 毎週月曜日17時頃～(10分間) ※第5月曜日を除く

学生とのコラボは「北風と太陽」 あなたは学生の気持ちになっていますか?

NPOTキめきラボ 樺沢新一さん

NPOTキめきラボは、青少年を対象にロボットコンテストやロボットコンサートなどを行っており、主に大会運営や、ロボット作成教室、イベントの企画立案で長岡技術科学大学などの学生と連携しています。学生と一緒に企画を進める中で意識していることは、学生にとってのメリットを考えることです。例えば、子どもたちや社会人と接する機会だって学生にとっては貴重な経験ですよね。社会で活きたり学校では学べないようなことに学生は惹かれます。また自主性に期待しながらも過度な要求は慎みましょう。一方的に協力を求めるよりも、その年ごとの学生の個性を尊重する方が大切です。学生ならではのアイデアはとても刺激的で、思ってもみなかったことがカタチになります。しかしそれ以上に、協力し合った思い出が宝物であり、一緒に取り組めて良かったと思わされます。

※この記事はWEBサイト「コライト」からの抜粋です。



あなたに役立つ情報が きっとあります

市民活動の情報が行き交う、ながおか市民協働センターは、もう一歩踏み出したい人をサポートします。団体も個人もつながりませんか!

団体登録をして活動の 幅を広げませんか?

お手伝いします。

- 団体のPRを応援!
- イベントや募集情報を拡散!
- 人・団体をつなぎます!
- センターからの情報を届けます!

【コーディネーター相談受付時間】
午前9時～午後6時(月～金)

※土日祝日または時間外のご相談については事前にご予約ください。

活動に参加してつながりの輪を広げませんか?

ご紹介します。

- 空いた時間で人の役に立つ活動をしてみたい(ボランティア紹介)
- 子ども向けの工作教室をしてほしい(講師紹介)
- 長岡ならではのイベントに参加したい(イベント紹介)



コライト、見ないと!

コライト

検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこつてのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

地域活動で地元をつなげる6代目
関達夫さんインタビュー
interview

マイペースな地域の子育てサポーター

西脇恵美子さん

● 団体PickUp!

「次世代に届け、絵本に実った長岡愛」
長岡野菜絵本プロジェクト

「伝統文化で地域活性化」

特定非営利活動法人 大手寄席

「地域の歴史を通して伝えたいこと」

ふる里伝え隊

「新特産品づくりを支える応援団」

栃尾ワインを楽しむ会

● 長岡企業のソーシャルアクション!

「お団子でつなぐ地域との絆」

株式会社江口だんご

● みんなの声

投稿テーマ「ちょっと心温まる、みんなのイベントレポート」

FMながおか
80.7MHz毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオながおかの
市民活動紹介番組放送時間
10分程度
第5月曜日を除く

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。



関 達夫さん〈33歳／自営業〉川口町商工会、川口地域委員、川口観光協会

最後に美味しいお酒が呑めたらいいじゃない 地域づくりは軽やかに楽しく

中越地震を機に川口地域へ家業を継ぐためにUターンした関達夫さん。まずは地元を知ろうと積極的に商工会、地域委員、観光協会などといった地域活動に参加しました。当時は目の前のことに精一杯で、「何のために」「誰のために」なんて考える余裕はなかったそう。しかし、活動を通して出会った先輩たちの背中を見て次第に自分なりの目的意識が芽生えるように。「抜群のリーダーシップを持つ人、何事も楽しむことを忘れない人など『自分もこんな風になりたい』と思える先輩たちに出会えたことが大きいです」。先輩に触発された関さんは、川口で何かを企画するといふときに気軽に相談してもらえる存在を目指します。

“貰った話は何でもやってみる”をモットーに、商工会青年部の仲間と協力して地域食材を使ったメニューを作りたいというNPO法

人を地元の人とつないだりもしました。そのように活動が続ける中で、最近「川口でこんなイベントしたいんだけど…」と地元の調整や仲間集めの相談をされることも増えるように。「川口を盛り上げたいと声を掛けてくれた人の気持ちには最大限応えたいじゃないですか。自分に出来ることは楽しみながらフットワーク軽く何でもしたいです」。

様々な団体やイベントに関わってきたことで、次第にある課題が見えてきました。「他の団体がいつどんなイベントを予定しているかすら知らなかったり、横の連携があまり取れていない様に見えます。協力し合った方が一体感が出て、もっと川口が盛り上がるのかもかもしれません」。どうせやるなら楽しく、どうせ暮らすなら楽しいまちに、と気張りの無いマイルド親分肌の関さんが、川口地域の未来をつくるキーマンなのかもしれません。



●上：市民活動に対する姿勢は、商工会青年部の活動を通して出会った先輩や仲間からの影響が大きいそう。●左下：家業の「やな場」を継ぐ長男として、市民活動は地域の繋がりを築くうえで欠かせません。●右下：たびたび参加するという交流会「シェア飯」。仲間たちと美味しくお酒を飲むことが活動の原動力です。

profile

- 1983年 川口町(現長岡市)に江戸時代から続く川口やな場の6代目として生まれる。
- 2002年 調理の専門学校を卒業し、東京の割烹料理屋で経験を積む。
- 2004年 中越地震を機に帰郷。地域へのあいさつ回りを兼ね、直後から川口町商工会青年部に加入。
- 2013年 川口町商工会青年部部長に就任。任期の2年を務め終えた後は川口地域委員に就任。本人曰く「様々な視点から地元を勉強している最中」。

活動の根っこ

きっかけは色々ありますが
どうせ やるなら…

楽しく!!
関 達夫

profile

- 1969年 秋田県に生まれる。東京都で就職し23歳で結婚。24歳の時に長男を出産。
- 1996年 夫の地元越路町(現長岡市)に移住。
- 1998年 雑貨ショップCute開店。お店を拠点に様々な活動を展開。
- 2008年 活動を統括する『親子の創造活動・応援団キューブ』設立。
- 2017年 現在店舗は休業中ですが、今秋立ち上げた『もみじの縁』の手作り雑貨販売をプラスし、来春店舗を再開予定です。

活動の根っこ

愛
西脇恵美子



●左：年々地域の理解も得られてきた「ゆめ花道」。花々が子どもたちの成長を見守っています。●右上：活動の原点「えほんくらぶ」で読み聞かせを行う西脇さん。お店以外の場所で行うことも。●右下：東京在住時代の家族写真。家族との時間を大事にするのは、今も昔も変わらない西脇さんの大事なポリシーです。

西脇恵美子さん〈48歳／自営業〉親子の創造活動・応援団キューブ

まず自分たちが楽しむ！ 地域のママとつくる成長し合える場所

地域のママたちの「やりたい!」をカタチにする西脇恵美子さんは、自身の子育てが終わってからも活発に活動が続けています。

子育ては田舎でしたいと思い、ご主人の地元越路地域へ移住。家族のそばに居ながら地域と関われる仕事がしたいと「子どもと共に成長し、育んでゆく店」をコンセプトとした雑貨店Cuteを平成10年に開店しました。お店を営む中で、平成13年に絵本の読み聞かせを行う『えほんくらぶ』をスタート。その後、農体験を行う『あおむしクラブ』、通学路を花で彩る『ゆめ花道』など子どもの成長とともに活動の幅も広がっていきました。

平成20年、様々な活動を統括するため「親子の創造活動・応援団キューブ」を地域のママたちと設立。「代表といっても自分は連絡係」と謙遜しながら、自身の子育てがひと段落してからでも率先的に活動を行って

きた西脇さん。「毎回活動の節目でもうやめようと思う。でも不思議とみんなとやりたいことが湧いてきて、気がついたら今まで続いていた」。無理に活動を大きくしたり、PRLすぎないのがキューブ流。家事や子育てを優先しながら、無理せず楽しみながら活動することが長続きの秘訣です。長く続けてきて気づいたことは「家族の支え」。「今までやってこれたのは家族みんなの理解があってこそ」。開店当初小さかった息子さんも、今では商品POPなどを作ってくれるほど協力的です。

現在店舗は休業中ですが、来春再開し、キューブの活動もできる範囲で続けていく予定です。「今後いつやめるかわからないけど、いつまでも「子は地域の宝」。子どもたちが喜ぶ環境づくりに関わっていききたい」と、これからも地域の親子の強い味方として、活動していきます。

団体PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

長岡野菜絵本プロジェクト

次世代に届け、絵本に突った長岡愛



子どもたちに絵本を通して長岡野菜を好きになってもらうため始まったプロジェクト。今年8月31日(やさいの日)に第一弾『ながおかやさい ぼく きんちゃくなす』を発行しました。市内の幼稚園や保育園、小学校等に無償配布するとともに、イベントでの読み聞かせなどを行っています。次回作も検討中で、学校での食育教本としてだけではなく、おうちで長岡愛を育むきっかけとなればと思っています。

ふる里伝え隊

地域の歴史を通して伝えたいこと



2011年からDVD制作や講演会、偉人ゆかりの品の展示などを通して中之島地域の歩みを残し伝えていこうと活動中。大切にしていることは、実際に遺品やゆかりの品に触れ体感してもらうこと。今年10月に開催したアオーレ長岡での展示会では様々な地域から多くの人々が来場し、活動の手ごたえを感じました。今後は偉人や地域の歴史を通して今を生きる自分たちの存在意義も伝えていきたいです。

特定非営利活動法人 大手寄席

伝統文化で地域活性化



気軽に落語に触れる機会をつくり、伝統文化を継承しながら地域活性化につなげることを目的に活動しています。年間5回の自主企画公演会は入場無料。いただく木戸銭や謝礼は社会福祉協議会へ寄付し、地域との結び付きを大切にしています。これまでに24回の公演会を実施。100回開催を目標としながら、子どもたちに「自分も落語をやってみたい!」と思ってもらえるよう魅力を伝えていきたいです。

栃尾ワインを楽しむ会

新特産品づくりを支える応援団



栃尾地域の新たな特産品を目指す「栃尾ワイン」。このワイン造りを支えるのが「栃尾ワインを楽しむ会」です。1口1万円の会員になれば、3年間毎年新酒2本を受け取れます。現在会員は300名を超え、その内3割は栃尾地域外の方々。地元会員のおかげで口コミが広がり増えていきました。毎年恒例の新酒の試飲会には大勢の人が集まり、会員と生産者をつなぐ大切な交流の場となっています。

長岡企業のソーシャルアクション!

地域活動を支える企業をご紹介します

株式会社江口だんご

お団子でつなぐ地域との絆

新潟の素材と環境で美味しい菓子を作ることを信念とする株式会社江口だんごは、米百俵まつり当日、西津店にて宮本・大積・青葉台地区の時代行列にお休み処を提供しています。20年以上続けてきたことで地区との絆が強まり、現在では原料の生産や本店を新設移転するまでに発展。今後はもっと地域と連携しながら、食を通じた取り組みで長岡の魅力を発信していけたらと考えています。

